

■会長報告■

新年あけましておめでとうございます。
正月三が日は穏やかな天気です。初詣の人出が多く見られ、八幡町の賑わいが戻り安どし、今年一年穏やかな日々を過ごせるようお願いしております。

年頭にあたり会員皆様及びご家族様方のご健勝とご多幸をお祈りいたしますと共に、今後皆様方のさらなるご指導ご協力をお願い申し上げます。

■幹事報告■

1. 本日は2023年、最初の例会となります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。
年末に海野会長からもお知らせがありました。インターシティー・ミーティング開催のご案内です。
5月13日(土) 17時マリオス大ホールにて開催
その後、ニューウィングにて交流会
5月14日(日) ゴルフ対抗交流戦
詳細につきましては、決まり次第あらためてご案内いたしますが、まずは是非予定に入れて頂きご参加をお願いいたします。
2. 本日は第一例会ですので、例会終了後理事役員会がございます。

SMILE ☆藤澤大祐会員…今年もよろしくお願いいたします。皆様のうさぎの様な飛躍にスマイルします。

☆岩井澤昭一会員…明けましておめでとうございます。

☆吉田祐一会員…明けましておめでとうございます。本年も宜しくお祈りいたします。

☆山地信行会員…あけましておめでとうございます。

☆田村清記会員…新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

☆鈴木裕子会員…あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

☆日山健一会員…あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

☆高橋貞勝会員…新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお祈り申し上げます。

■記念日おめでとうございます■ (1月)

- 誕生日
晴山正博会員 (14日) 岩井澤昭一会員 (3日)
菊地克昌会員 (9日)
- 結婚記念日
工藤 泰会員 (31日)
- 創立記念日
小笠原紘一会員 (1日) 藤澤大祐会員 (23日)
西川雅之会員 (5日)

出席報告

会員数	33名
出席数	16名
出席率	55.17%
前々回修正出席率	なし

第22回例会 2023年1月11日(水) 曇 No. 3044 ●ソング=国歌「君が代」 奉仕の理想 進行：SAA 日山健一

■卓話■ 黒川賀重会員

子宮頸がん HPVとワクチン

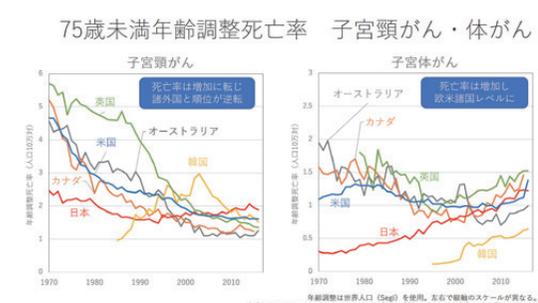
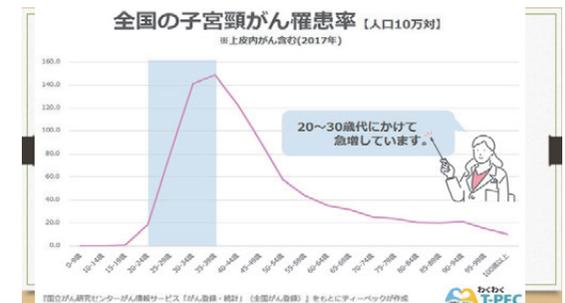
2023年1月11日

子宮頸がんを引き起こすヒューマンパピローマウイルス

ハラルド・ツァ・ハウゼン博士
1983年 ヒューマンパピローマウイルスを発見。
2008年 ノーベル生理学医学賞受賞
この研究成果を基礎にワクチンが開発された。

子宮頸がんにはどれだけ罹りどれだけ死んでいるか？

～特に日本の現状～



対策は...

- ・ 検診率の向上
- ・ ワクチン接種率の向上
- ・ 適切な治療とケア

子宮頸がん排除のための構造

構えているもの: 子宮頸がんのない世界
問題 (排除の基準) 全ての国で子宮頸がんの罹患率が100,000人年より少なくなる

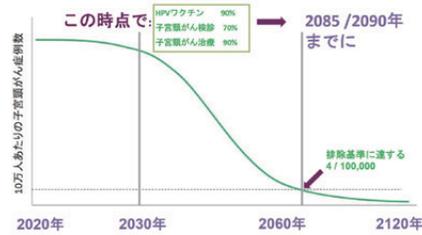
2030年の介入目標

- 90% 少女が15歳までに完全なHPVワクチン接種を受けること
- 70% 女性が15歳以上の歳の時に罹患率の高い子宮頸がん検診を受けること
- 90% 子宮頸がん患者を罹患した女性が治療とケアを受けること

SDGs 2030 (Sustainable Development Goals 2030) の項目3.4では、子宮頸がんの死亡率を2030年までに50%減らすことを目標としている。

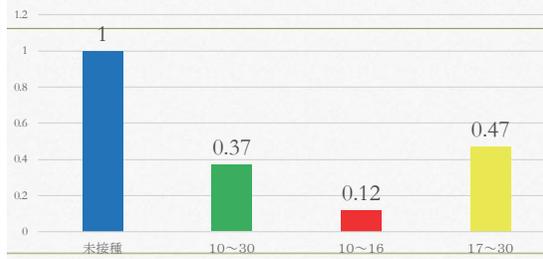
2030年の目標と現状の差を埋めるには、モザイクの構築とWHOの承認プロセスに応じて改訂される可能性があります。

2030年にHPVワクチン、子宮頸がん検診、子宮頸がん治療のそれぞれの介入が、増加した場合の変化



HPVワクチンの効果

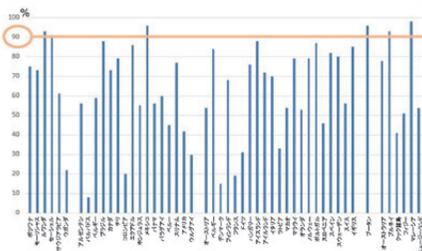
英国 スウェーデン デンマークのワクチン接種後の浸潤がん発生率



ワクチンの対象者

- 10歳から16歳の接種が有効である。
- 新しく入ってくるHPVにも有効であるのでパートナーが変わった場合でも有効

全年齢のHPV ワクチン接種率 (2014-2016)
90%の接種率は実現可能であるが、多くの国で大きく下回る



日本のHPVワクチン接種率 2019年

- 一回目 3.3%
 - 2回目 2.6%
 - 3回目 1.9%
- 他国と比べるとワーストクラス

HPVワクチン(公費負担)の経緯

HPVワクチンは子宮頸(けい)がんの予防を目的として**13年4月**に定期接種が始まったが、副反応の訴えがあり、**同年6月**に勧奨中止となった。その後、安全性に特段の懸念が認められず、有効性が副反応リスクを上回るとして、厚生労働省は**21年**に勧奨再開を決めた

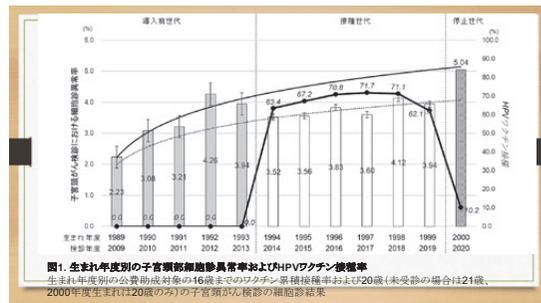


図1 生れ年別の子宮頸部検診受診率およびHPVワクチン接種率
生れ年別別の公費助成対象の16歳までのワクチン接種率は20歳(未受診の場合は24歳、2000年度生まれは20歳のみ)の子宮頸がん検診の結果

WHOの声明 2015年12月

「HPVワクチンの推奨を変更すべき安全性の問題は確認できない」
～特にに日本に対して～
「弱い根拠に基づく政策決定は真の被害を招きかねない」
↓
日本に対する非難

HPVワクチンと男性

男性へのHPVワクチンの投与について

- 令和2年度第7回薬事・食品衛生審議会医薬品第二部会(令和2年12月)において、MSD株式会社から申請のあった組換え沈降4価ヒトパピローマウイルスワクチン(ガーダシル)の製造販売承認事項一部変更の可否が審議され、効能・効果について、前駆病変を含む**肛門癌(男女)**及び**尖圭コンジローマ(男性)**の予防に対する適応拡大が承認された。

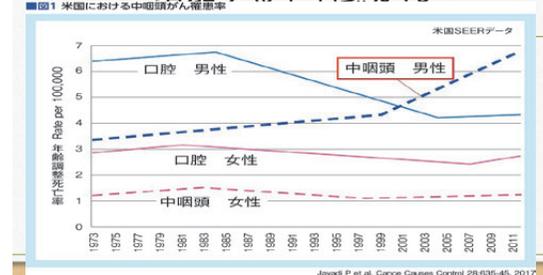
世界臨床検査通信シリーズより

国際臨床病理センター 河合忠
米国-NHANES*1の2011-2016年調査によると、米国内在住成人(19-69歳)の調査結果、男性の11.5%、女性の3.2%がHPVに感染しており、全国的には男性1100万人、女性320万人と推計された。口腔HPV16型については、男性は女性の6倍も多く、全国推計では男性1700万人、女性27万人と推計された。臨床的に頭頸部癌が男性に多い実態を考慮し、**男性へのワクチン接種の必要性を指摘した。**

世界臨床検査通信シリーズより

国際臨床病理センター 河合忠
欧米では若い女性へのHPVワクチン接種が定着し、さらに**男性への接種を進めることにより**、男女ともに大部分の性器および**口腔咽頭・頭頸部癌**の発症予防に役立つことが期待されている

増加する中咽頭がん



結語

- HPVワクチンは**男性**にも必要な時代になった。女性だけが対象のワクチンではない。